



## 番外編その4 零式艦上戦闘機21型大集合

段ボール箱全50回を紹介している間に8年の月日が過ぎました。これまで第30回・40回・50回においては同一アイテムのスケール違いのキットを含めてお送りいたしましたが、他にも大好きなアイテムがいくつもありますので、今回は零式艦上戦闘機21型を紹介します（画像をクリックすると個別のキット紹介に移動します）。



恐らく殆どの日本人がその名を知っている「ゼロ戦」こと零式艦上戦闘機のプラモデルは黎明期より星の数程存在...ということは以前にも書きました。零戦は神武紀元2600年(西暦1940年)に正式採用され、太平洋戦争戦争が終結する1945年8月まで改修(マイナーチェンジ)を重ねながら使い続けられましたが、「延命措置」ともいえるその改修は堀越二郎設計主任の本意ではなかったらしく、「初期型の21型こそが本来の零戦」と評したと云われています。そのような背景もあって、零戦21型は飛行機モチーフでは「零戦の中の零戦」と位置付けられており、キット化の機会にも恵まれているのです(52型のキットも多いのですが、これはサブタイプが存在するからだと思われます)。

### 日本海軍零戦21型



### 当時価格200円・エルエス製

1980年代中盤に購入。厳密には1/75らしいのですが、何回目かの再販からは1/72と表記されています。初版にあつたモーター回転機構や主脚収納機構は再販の過程で省略されたものの、各ラダーの殆どが可動、キャノピースライド開閉、そして21型の特徴である主翼端の折り畳みが可能なギミック満載のキットです(可動ヒンジはやや大きめ)。エルエス倒産後はアリイ(マイクロエース)に金型が移り、600円(+税)で再販されていました。

**日本海軍零式艦上戦闘機21型**

**当時価格600円+税・タミヤ製**  
1990年頃、値上がりするとのアナウンスに慌てて購入。ベテランキットながら現在の目で見ても21型の端正な形状が良く再現されており、また部品点数が抑えられているのですぐに形になることから初心者に安心して薦められるキットです。デカールはメジャーなものを中心に5種類分が付属、塗装見本用のカラー図版も同梱されています。現在は1,575円(税込)となったもののいまだに現行商品(モーターと背景がセットになったプロペラアクションは2,450円(税込))。

**Mitsubishi ZERO Type21**

**当時価格800円+税・フジミ製**  
1990年頃に購入。キット内容は上記タミヤ1/48と良く似ており、心持ちガッシリしたプロポーションとなっています。その一方でエンジンの配管やループアンテナ等の部品が精細で魅力的です。デカールは7種類分が付属、タミヤ同様カラー図版が同梱されています。同スケールのF6Fとセットになるなど何度か仕様や価格を変更して生産されていましたが、現在は絶版のようです。

**三菱零式艦上戦闘機21型 '台南空'****当時価格1,200円+税・ハセガワ製**

1990年代前半に新規開発されたキットにデカールをセットした限定生産品。カウリングをスライド金型で一体成型するなどの最新技術を惜しみなく投入、新たな資料の発見等により形状的に不満の出てきた旧1/72キットを完全に過去のものとするキットの仕様に多くのファンが狂喜しました。台南空のエース達の機体が再現できますが、限定品ゆえ現在は入手困難(通常の21型は継続生産中)。

**ZERO FIGHTER & FLIGHT DECK SET****当時価格1,000円+税・SWEET製**

2000年代前半に購入。それまで2機セットで売られていた零戦1機分のランナーに、イベントで頒布していた空母の飛行甲板セットを同梱したものです。零戦は1/144ながら翼端折り畳み部が別パーツとなっているなど随所にこだわりを感じさせる好キットであり、所謂青豔色で成型されたのもこのキットが初めてだと記憶しています。

### 科博所蔵品再現モデル 零式艦上戦闘機



### 当時価格税込950円・海洋堂製

厳密にはプラモデルではないのですが...2000年代中盤、東京出張のついでに国立科学博物館で購入しました。約1/144。「ラバウル複戦」の展示を再現しているのが特徴で、カウリングを外した状態で造形されておりエンジンのモールドが良くわかります。この時期零戦の食玩を販売していた海洋堂による原型ですが、一般販売はされていないようです。現在も通信販売で購入できます(価格は1,350円(税込)+送料となります)。

### 至高のゼロ《接触篇》《発動篇》



### 当時価格税込3,160円(雑誌付録)・ファインモールド製

月刊モデルグラフィックス誌2007年11月号及び12月号付録の1/72キットです。模型単体では販売されないということで3セット程購入(爆)綿密なリサーチと最新の金型技術により21型の形状が徹底的に再現されています。キャラクター モデルではお馴染みの「イロプラ」の新作。一般販売されない筈なのに何故かバリエーション展開が可能な謎のパーツ割となっています(後に同様の販売形態で32・52・22型がリリースされました)。

### 『ラバウルでの激闘』 零戦21型



### 当時価格1,500円+税・童友社製

2000年代後半に購入。1/100塗装済要接着モデル「翼」シリーズの零戦21型に単3乾電池を内蔵できる飾り台と携帯電話用の振動モーター及びモーター取付用のエンジン・プロペラ等を追加したもので、隼も同仕様のものが発売されました(以降のキットでは最初からモーターに対応した部品形状となっています)。坂井三郎機は「翼」第10弾の'V-103'ではなく'V-138'となっています(ということは2コ1すれば'V-103'のプロペラを廻すことも可能)。

### MITSUBISHI A6M2b ZERO



### 当時価格約700円・AIRFIX製

2012年購入。安価で出来が良いと話題になったAIRFIXの新1/72シリーズ、近場では入手できずネットオークションで購入した為正確な価格は不明です。今まで海外キットに良く見られたアバウトな形状やリサーチ不足は殆どありません。それどころか日本のキットではまず付属しない、主翼裏面に大きな機番の入る塗装例を選択する辺りマニアック過ぎです(笑)。明灰白色の塗装パターンのものも発売されていますが、そちらは塗料とのセットとなっており若干高額なようです。

## | MITSUBISHI A6M2b ZERO FIGHTER



当時価格税込1,470円・タミヤ製  
1/32キットの開発成果をフル活用して  
2012年に発売された、タミヤのウォー  
バードシリーズ最新作。部品点数を極  
力抑えながらも主脚収納部の奥行き等  
をきっちり表現しており、初心者にも優  
しい仕様です。一部の部品は既発売の  
52型と兼用することでコストダウンが図  
られています。デカールは空母部隊の  
機体3種類分が付属、別売りデカール  
も欲しい所です。